



エコ・ファーストの約束（更新書）

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 細野 豪志殿

平成24年3月22日
日産自動車株式会社
最高執行責任者 志賀 俊之

志賀 俊之

日産自動車株式会社は、環境理念である“人とクルマと自然の共生”の実現のために、当社の企業活動やクルマの走行から発生する環境負荷や資源利用を自然が吸収可能なレベルに抑えることをめざし、以下の主な目標を2016年度までに達成すべく、取り組みを進めてまいります。

1. ゼロ・エミッション車の普及：ルノーとのアライアンスのもと累計150万台のEVを販売

- 「日産リーフ」を含むEV4車種を発売
- 量産燃料電池車（FCEV）の投入を準備
- EV駆動用バッテリーの市場投入でグローバルリーダーとなる
- EV及びその派生技術を活用して、パートナーとともにゼロ・エミッション社会を具現化
 - ・ EV充放電制御技術と情報ネットワークの開発
 - ・ スマートハウス、スマートコミュニティ、スマートグリッドの実証実験の実施（横浜市より開始）
- EVの使用済みバッテリーを活用した“エネルギー貯蔵”システムの商品化

2. 低燃費車の拡大：企業平均燃費を35%改善（日本/北米/欧州/中国、2005年度比）

- 幅広いクラスで燃費トップとなるモデルを投入
- Cクラス以上のFF（前輪駆動）車にHEVを投入、及びFR（後輪駆動）車にHEVを拡大
- プラグインハイブリッド車（P-HEV）を投入
- 次世代CVTをグローバルに投入し、CVT搭載車販売を累計2,000万台に拡大
- 構造合理化・新材料・工法による軽量化技術開発
- ITS技術による使用時のCO₂削減への貢献
 - ・ 北京市と連携し、交通渋滞改善及びエコ運転支援の実証プログラムを実施

3. カーボンフットプリントの最小化：企業活動におけるCO₂排出量を20%削減（t-CO₂/台、2005年度比）

- 全生産拠点で27%削減（t-CO₂/台、2005年度比）
- 部品・完成車物流からのCO₂排出量を最小限にとどめる活動を推進
- オフィスで毎年1%削減（日本/北米/欧州/中国、原単位）
- 販売会社で毎年1%削減（日本、原単位）

4. 新たに採掘する天然資源の最小化：クルマ1台あたりの再生材使用率を25%に向上

- ビジネスパートナーと連携し、クローズド・ループ リサイクルのしくみを拡大
 - ・ クルマの生産時に発生するスクラップや、使用済み自動車を回収、再生
- リサイクル実効率の向上
 - ・ 日本：トップレベルのリサイクル実効率を達成、グローバル：使用済み自動車の適正処理と再資源化を推進
- レアメタル、レアアースの使用量を削減
- 貴金属の使用量を低減しつつ、各国・各地域の都市大気環境改善に資する低排出ガス車を導入
- 生産工場から発生する廃棄物を年2%（日本）、および年1%（グローバル）削減
- 物流において発生する廃棄物をベストプラクティス活動を通じて削減
- 全生産拠点で水使用量を管理し、削減を推進

5. 環境マネジメントの推進

- バリューチェーンを通じた環境マネジメントの強化と推進（連結企業、販売会社、サプライヤー）
- 環境負荷物質管理の強化と計画的な削減及び代替の推進
- LCA（ライフサイクルアセスメント）を活用した製品環境負荷の低減

日産自動車株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、結果について環境省への報告、ならびに定期的な公表を行って参ります。